

令和3年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒自ら課題を設定し、課題解決に向けて主体的に探究することができる生徒の育成を図る</p> <p>②グローバル化が進む社会で活躍できる生徒の資質・能力の育成を図る。</p>	<p>①・生徒がICT機器を活用して主体的・効率的に学習できる環境を整備し、生徒の多様な学びを支援する。 ・生徒の進路実現のために、より高度な授業実践をめざし、授業改善を進める。</p> <p>②多くの生徒がグローバル教育を受けることのできる場面の充実を図る。</p>	<p>①・教員対象の校内ICT研修を実施し、ICT活用の授業の支援を行う。 ・授業見学週間を設定し、研究授業を行うとともに、横国大との連携を活用し授業力を向上させる。</p> <p>②オンラインでの海外学校交流や専門学校の留学生との交流、外部講師を招いての講義などを実施する。</p>	<p>①・教員対象の校内ICT研修を実施したか。ICTを活用した授業が増えたか。 ・授業見学週間で全教員が授業見学を行ったか、満足度が70%を超えたか。横国大との連携ができたか。</p> <p>②国内での新たなグローバル教育プログラムを実践できたか、また、様々な異文化交流を通して世界に対する興味関心を高め、グローバルな視点を育むことができたか。</p>
2	生徒指導・支援	<p>①豊かな人間性やコミュニケーション能力、主体的に行動できる人格の育成を図る。</p> <p>②生徒一人ひとりの適切な理解に基づく生徒支援体制と教育・健康相談の充実を図る。</p>	<p>①生徒が主体的に活動できるよう学校行事や委員会等を支援する。</p> <p>②生徒一人ひとりに係わる職員との連携を深め、生徒理解に努める。また、感染症対策についての正しい知識を身に付け、健康で安全な学校生活を送れるようにサポートする。</p>	<p>①感染症拡大防止策を含めて、生徒が主体的に学校行事を企画し活動できるよう委員会等を支援する。</p> <p>②健康に関する情報を定期的に発信し、正しい知識を身に付けさせる。また、健康観察等を通して、不安のある生徒に声かけを行う。生徒理解については全職員で周知できるよう、細かく情報交換を行う。</p>	<p>①生徒が感染症対策を意識して学校行事を企画できたか、生徒が主体的に活動できる場面が増えたか。</p> <p>②課題のある生徒に対して情報を共有し、適切な生徒支援ができたか。また、健康観察等を通じて実態を把握し、学級通信や「ほけんだより」などで、健康的な生活のサポートができたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>①生徒自らが進路を開拓・選択する力を培うとともに、第一希望の実現をサポートする。</p>	<p>探究活動等を通して、キャリア教育を充実させ、進路に対する意識を高める。</p> <p>授業で培った基礎力をもとに、スタディショップ、Hi-ゼミ、校内模試等で思考力や応用力などの育成に努める。</p>	<p>先輩セミナーや模擬授業を通して、進路につながる職業・学問への理解を深め、進路に対する目標を明確化する。</p> <p>・授業で基礎力を養うとともに、思考力・判断力・表現力の伸長を図る。</p> <p>・Hi-ゼミにおいてはハイレベルな学習スキルを身に付けさせ、応用力育成に努める。</p> <p>・校内模試では、振り返りを充実させることで、より深い学びのサポートを行う。</p>	<p>自分の将来の職業・学びに対する目標が持てるようになったか。</p> <p>・中学生の時よりも思考力・判断力・表現力を高めることができたかと実感する生徒の割合が90%を超えたか。</p> <p>・校内模試において国数英の学年平均偏差値が55を超えたか。また、国数英全体の偏差値60を超える生徒が、各学年50名以上になったか。</p> <p>・受験結果において、国公立大学現役合格者40名以上、早慶上理35名以上、GMARCH160名以上を達成できたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①PTAや地域との連携事業を推進し、地域とともにある学校づくりを推進する。</p>	<p>PTAとの交流・連携事業について新たな取り組みを検討し、地域とともにある学校づくりを推進する。地域貢献活動や地域の他の学校との交流を推進する。</p>	<p>コロナ禍におけるPTA活動が円滑に行われるよう新たなシステム作りを進め、体育祭、文化祭、交流活動、PTAボランティア活動の実施をサポートする。西区社会福祉協議会と連携し、地域貢献活動を行う。保土ヶ谷養護学校分教室と学校行事等を通して交流する。</p>	<p>コロナ禍におけるPTA活動が円滑に行われるよう新たなシステム作りを進め、各活動実施のサポートをすることができたか。</p> <p>地域貢献活動の活性化を図ることができたか。保土ヶ谷養護学校分教室の生徒と交流できたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①大規模災害に備え、職員・生徒が協力して行動できる体制を整える。</p> <p>②生徒と向き合う時間を確保するため、教員の働き方改革を推進する。</p>	<p>①大規模災害に備え、防災マニュアルを見直す。職員・生徒が協力して行動できる体制を整備する。</p> <p>②教員の業務分担や勤務時間を把握し、業務の均分化を推進し、働き方改革をより一層推進する。</p>	<p>①・大地震を想定して、生徒自身で周りの危険箇所を探り、情報を共有する。 ・横浜市との協定細則に基づく避難所運営のマニュアルを整備する。</p> <p>②勤務時間管理システムを活用することで、時間外労働の状況を把握し、時間外労働時間の減少に努める。</p>	<p>①・生徒自身が、周辺の危険箇所を理解できたか。 ・補助的避難所の避難所運営マニュアルを教員に周知できたか。</p> <p>②業務に取り組む充実度や満足度を面談等により判断し、充実度、満足度の高い教員の割合を70%以上とすることができたか。</p>